

平成 20 年度 事業計画

I. 法人の組織

別添 1

II. 事業の概要

1. 学園創立 100 周年記念行事・事業

① 記念式典の挙行

- ・開催日時 平成 20 年 5 月 15 日 (木) 13 時より
- ・場所 別府市ビーコンプラザ
- ・関連行事 アトラクション (南こうせつ コンサート)

② 記念誌の発行

③ 記念事業

- ・教育文化行事 別添 2
- ・教育・研究施設設備の充実

事業年度	記念事業	総事業費 (単位:百万円)
(実施済事業)		
平成 14 年度	明豊中・高体育館新築	202
平成 17 年度	35 号館増築 (食物大学院研究室・実習室)	85
平成 17 年度	36 号館新築 (食物バイオ学科講義・実習室)	724
平成 18・19 年度	37 号館メディア教育・研究センター新築・設備	463
平成 19 年度	38 号館大分香りの博物館新築・設備等	591
	小 計	2,065
(予定事業)		
平成 19・20 年度	2 号館新築 (短期大学部講義・実習室)	406
平成 20 年度	39 号館新築 (国際経営学部講義・研究室等)	558
	小 計	964
	合 計	3,029

2. 学部・学科の新設並びに改組への取り組み

大学部門については、社会的要請・時代的な背景を踏まえ平成 21 年度に国際経営学部 国際経営学科の新設や既設学部の改組を実施することとしている。全学的な教育課程・カリキュラムの再編、大学運営体制の見直しなど行うこととして引き続き大学改革を推進する。

3. 教育研究活動の推進

(1) 教育研究活動の充実・強化

(学園全体)

学園創立 100 周年記念事業として、教育研究活動を積極的に実施し、今後の国際社会に対応でき、地域社会に貢献できる人材の育成に努める。

(大学・短期大学部)

- ① 学内の教育研究環境を醸成し、平成 19 年度に教育研究分野の知的な蓄積を結集して学部・学科を横断した研究会を立ち上げた。例えば、当研究会を中心に、地域の特性を活かした研究課題として「温泉学の構築」を前期に続き推進・充実させ外部資金の獲得に努める。
- ② 大分大学をはじめとする県内の大学等で大学を横断した研究体制を構築するために立ち上げた「地域連携研究コンソーシアム大分」に引続き積極的に参画し、他大学と連携した共同研究の推進を図り、外部資金の獲得に努める。
- ③ 「科学研究費」や「質の高い大学教育推進プログラム」等の補助金をはじめとする学外からの競争的資金の確保に努め、教育研究活動の充実・強化を図る。
- ④ 大分大学との間に平成 18 年度に協力協定を締結した。平成 20 年度前学期からこの協定に基づき学部学生の単位互換制度を開始する。
- ⑤ 教員自らの授業方法の改善、研究会の開催、授業評価の実施などを通じてファカルティ・ディベロップメント (FD) の充実に努め、教育内容・方法の改善に努める。
- ⑥ 外部評価機構による評価報告書を踏まえ教育研究活動の継続的な改善・向上に努めるとともに平成 20 年度には自己点検評価を実施する。また、教員の教育研究業績のデータベース化に取組みその公表を通じて地域社会への貢献の一助とする。

(附属学校関係)

- ① 高等学校の教育課程を見直し、改善を図る。
 - ② 中学では生徒の個性に応じ特色ある「チャレンジクラス」「特別編成クラス」を編成し、生徒の個性・目標に応じた教育を展開する。
 - ③ 中学、高校と小学校が連携し、外国人教師及び海外の学校との交流を深め、一貫した英語教育システムの構築を図る。
 - ④ 幼稚園では短期大学部初等教育科との共同研究により「幼児の発信型コミュニケーション能力の育成」を研究テーマとし実践研究を図る。
- (2) 高度情報化への対応とその充実・強化
- ① 「別府大学メディア教育・研究センター」を情報の集積・配信拠点として継続

的に整備するとともに、授業に使用するコンテンツ・教材の開発や遠隔授業を計画的に実施する。

②大学システムの再構築を継続して実施し、シラバスの作成、成績評価の登録の充実、迅速化をはかり、教学上の学生支援体制を強化する。

(3) 国際交流の充実・強化

①学生及び教職員の海外姉妹校との交流やメディア教育・研究センターによる海外との遠隔授業等を通じた国際理解教育の推進に努める。

②別府大学国際セミナー（夏季・冬季）を継続して実施する。

③韓国留学生のインターンシップの受入れを継続して実施する（企業および学内施設）

(4) スポーツ・文化芸術活動の充実・強化

①大分国体に積極的に参加する（出場 クラブ・個人及びボランティア）

②芸術・文化やスポーツ活動において優秀な成績をおさめた学生生徒に対して、奨励賞を授与するなど、スポーツ・芸術活動の振興・発展に努める。

③学園創立 100 周年記念事業として、公開講座などを通して文化活動を実施する。

4. 教育施設設備の整備事業

(1) 建物の取得計画

「2号館 短期大学部講義・実習棟」、「39号館国際経営学部講義棟」の建設

(2) 情報関連の整備計画

別府大学メディア教育・研究センターのサイバーキャンパス整備（継続事業）

(3) 各部門の事業計画に基づき、教育研究用設備の充実を図る。

5. 学生支援活動

(1) キャリア（資格取得、就職）支援の充実・強化

①進路情報課が就職委員会、教職課程などの各課程の委員会及び各学科の教員と連携協力し、資格取得、就職対策講座及び学内外の企業合同説明会などを積極的に開催し、学生支援の充実に引続き努める。

②短期大学部地域総合科学科では文部科学省補助金採択事業「学生支援 GP」（全国の短大 434 校中採択校 11 校）に「進路支援対策一貫システム」の取り組みが採択された。このプログラムを活用して、集中・効果的に一貫した進路支援指導を実施していく。特に平成 19 年度大分キャンパスに開設した「進路支援プラザ」による進路情報の一元化や学生個々人の「電子カルテ」の活用により学生支援を行う。

(2) 新入生に対する入学前指導の強化

新入生を対象に、新学期からの授業等への取り組みがスムーズに行える

よう、大学では特殊科目、短期大学部ではパソコン、ピアノ等の講座を入学前に実施している。

(3) 生活相談などの支援

学生寮（民間社宅の借上）や斡旋による宿舍の確保、健康相談、悩み相談などの体制の整備充実に努める。

6. 学生募集対策

オープンキャンパス、高等学校訪問、高大連携などの学生募集に係る活動を再検討するとともに、就職対策とも結びつけた総合的な対策を検討して実施する。

Ⅲ. 主要事業の資金計画

単位：百万円

事業名	予算額	支払資金
2号館新築（短期大学部講義・実習室）	162	第2号基本金
39号館新築（国際経営学部講義・研究室等）	558	第2号基本金
サイバーキャンパス整備事業	42	第2号基本金

Ⅳ. 学生・生徒・園児の受入状況（予定）

別添 3